

REPORT

— 実績報告書 —



県民みんなでつくる文化・芸術の祭典

22ND TOTTORI ART AND CULTURE FESTIVAL

TORI ART 2024

2024.9 第22回鳥取県総合芸術文化祭
とりアート2024 → 2025.1

主催：鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県

特別後援：新日本海新聞社、鳥取県ケーブルテレビ協議会

後援：鳥取県教育委員会、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町

県民みんなで作る文化・芸術の祭典

22ND TOTTORI ART AND CULTURE FESTIVAL TORI ART 2024

とりアート2024開催テーマ

みんな、アーティスト。

はじめに

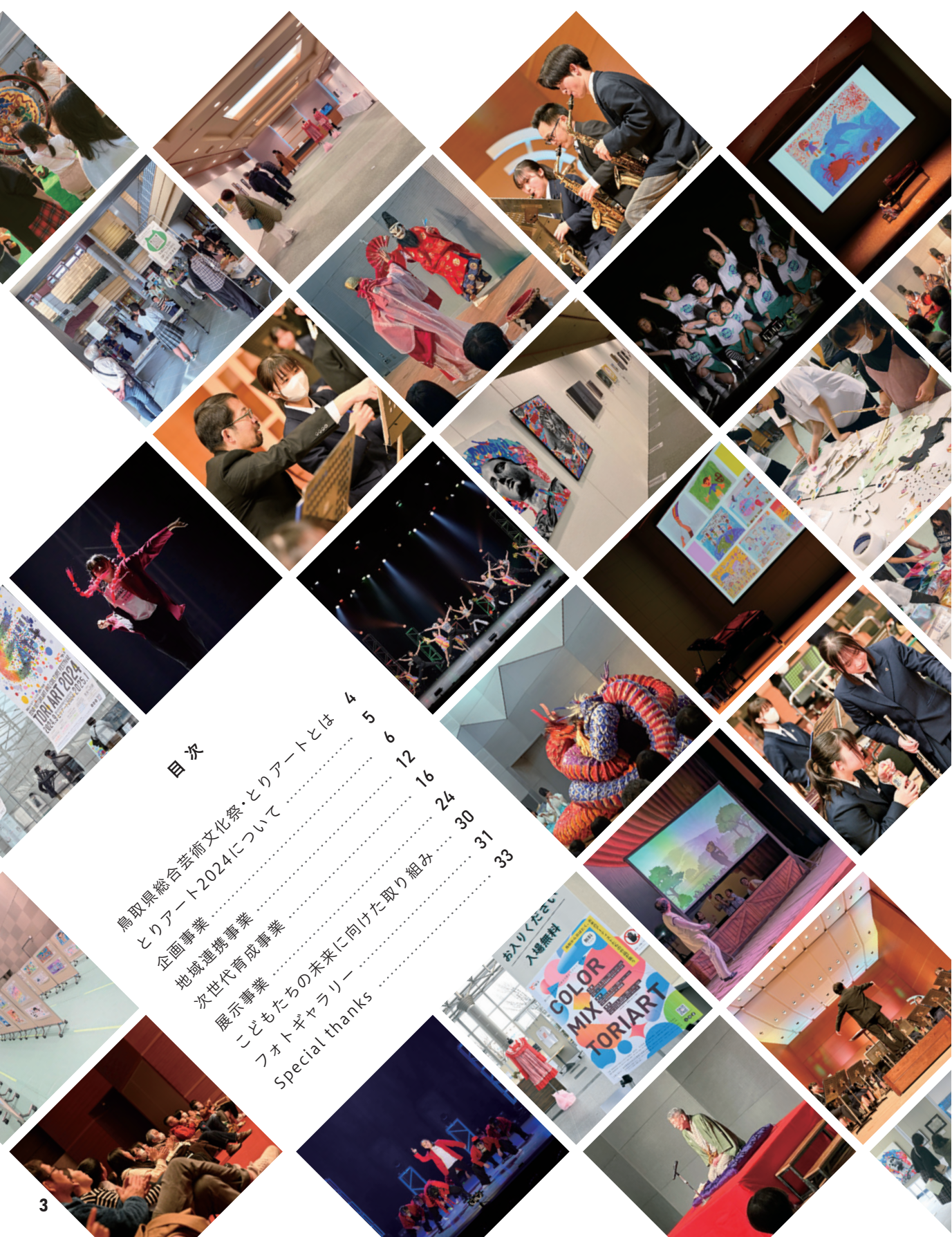
第22回鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2024は、皆さまのおかげをもちまして無事に終了いたしました。ご来場いただいた皆さま、そしてとりアートに関わる全ての皆さまに、心より感謝申し上げます。

鳥取県総合芸術文化祭(愛称:とりアート)は、平成14年に本県で開催された国民文化祭を契機に、県民が文化芸術への理解を深め、親しみ、自ら取り組むことを目指し、事業を実施しています。そして、第22回目を迎えた2024年度、にゃんにゃん(猫さん)のように、多くの方に愛される文化祭となるよう「みんな、アーティスト!」をテーマに掲げ、県内各地でアートを届ける取り組みを行いました。高校生のエネルギッシュな吹奏楽の演奏から、県内のダンサーが集結したダンスパフォーマンス、鳥取の古典・郷土芸能がいきいき楽しめるミニ体験付き鑑賞、影絵公演、絵画と音楽のコラボレーションコンサート、未来に羽ばたくアーティストの作品展示と、多彩なプログラムを通じて、アートをもっと気軽に身近なものと感じ、その魅力を存分に感じていただけたのであれば、心より嬉しく思います。

鳥取には、たくさんのアートがきらめいています。どこかで“とりアート”という言葉が聞こえてきたら、わくわくする気持ちを感じていただけますよう、今後も各地の様々なご縁とつながりながら、県民誰もが気軽に文化芸術に触れて親しめる機会をお届けするため、さまざまな取り組みでその充実を図ってまいります。

県民の皆さまをはじめ、ご来場・ご参加いただいた方もそうではない方も、ご出演者から関係者を含めたすべての皆さまに感謝の気持ちを込めて、それぞれの取り組みを振り返っていただけましたら幸いです。

2025年3月 とりアート実行委員会



目次

鳥取県総合芸術文化祭・とりアートとは 4

とりアート2024について 5

企画事業 6

地域連携事業 12

次世代育成事業 16

展示事業 24

子どもたちの未来に向けた取り組み 30

フォトギャラリー 31

Special thanks 33



鳥取県総合芸術文化祭・とりアート

鳥取県の総合芸術文化祭として「アートが開く、創造性と活力に満ちた鳥取県」の実現にむけて、誰もが文化芸術に親しむことができる環境を整えるとともに、県内の文化芸術の活性化を図り、次代の文化芸術を担う人材を育成することを将来のビジョンに掲げ事業を展開しています。

〈目標〉

01 文化芸術活動の裾野の拡大

若年層を中心とする活動者及び鑑賞者の育成と拡大

県内の文化芸術活動の裾野の拡大を目指し、県民誰もが気軽に文化芸術に触れ、親しむことができるような機会の提供を行うとともに、その充実を図ります。

02 文化芸術の質の向上

他分野やプロのアーティストとの共演を通じた能力や創造性の向上

県内の文化芸術の質の向上を図り、県民ニーズに沿った良質な作品を創造します。

03 多様な人材の育成

舞台や展示を通じた新たな人材の掘り起こしと本県の文化芸術の創造や地域への浸透を図るための取組を進める人材の育成

県内の文化芸術活動の円滑な遂行とそのレベルアップを図るため、活動者（指導者、後継者、担い手を含む）、鑑賞者、アートマネージャー、技術者、支援者等の必要な人材の育成及び育成した人材の活用を図ります。

〈取り組む事業〉

01 企画事業

活動者のレベル向上、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供、ジャンルや世代を越えた交流、次世代活動者の育成のため、県域の文化活動団体及び活動者と創る舞台公演の企画実施。

02 地域連携事業

地域に根ざした文化芸術の創造、裾野の拡大、地域資源の掘り起こしと再生のため、県内の文化資源を活用し、地域と連携した事業。

03 次世代育成事業

将来を見据えた鑑賞者・活動者の育成、子どもたちの感動と成長の場づくりのため、発表やチャレンジの場の提供、鑑賞事業やワークショップ等。

04 展示事業

新たな人材の掘り起こしと紹介、優れた文化芸術の鑑賞機会の提供のため、公募等によるアーティストの作品を県内各地区で巡回展示。

05 そのほか

目標の実現に資する事業

鳥取県総合芸術文化祭・とりアート2024

〈開催テーマ〉

みんな、アーティスト。

身近なもので音を奏で、体を動かしたり
好きな歌を口ずさんだり、
好きなものを絵に描いたり…
難しく考えないで、みんな、アーティスト！
いっしょにアーティストへの一歩を歩き出そう
「観る・聴く・遊ぶ(体験する)」を
アーティストと一緒に楽しむとりアート2024♪

会 期 2024年9月～2025年1月
会 場 鳥取県内
主 催 鳥取県総合芸術文化祭実行委員会、鳥取県
特別後援 新日本海新聞社、鳥取県ケーブルテレビ協議会
後 援 鳥取県教育委員会、鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、琴浦町、北栄町、日吉津村、大山町、南部町、伯耆町、日南町、日野町、江府町



とりアートyoutube
とりアート2024・みんなアーティスト！
@toriarttottori

誰でも挑戦できる場所 とりアートがみんなの舞台

企画事業

未来への扉 TOTTORI SUPER BRASS

若手育成、プロとアマの共演
文化芸術活動の裾野の拡大



プロアーティストと 高校生合同バンドがお届けする 吹奏楽の魅力が詰まったコンサート！

鳥取の誇る指揮者・大井駿氏を迎えてお送りする吹奏楽の祭典

高校生たちによる合同バンド「とっとりスーパーブラス」が鳥取ゆかりの楽曲から吹奏楽の名曲を盛り込んで、吹奏楽の魅力たっぷりのエネルギッシュな演奏をお届けしました。本番公演に至るまでには、国内外で活躍するゲストアーティストを講師に迎え、楽器別クリニックを複数回行ったことで、高校生一人ひとりの演奏に新たな魅力が増し、音楽表現の広がりを得ることができました。指揮者とプロアーティストの導きによって音作りに励んだ高校生の演奏に、会場はあたたかい拍手に包まれました。



Lesson レッスン



開催日時 2025年1月26日(日) 開演14:00

会場 とりぎん文化会館 梨花ホール 入場者数 延べ900名

指揮 大井 駿

出演 とっとりスーパーブラス
鳥取県内高等学校の吹奏楽部員による合同バンド
鳥取県立鳥取東高等学校、鳥取県立青谷高等学校、鳥取県立岩美高等学校
鳥取県立八頭高等学校、学校法人鳥取学園 鳥取城北高等学校

[ゲストアーティスト]
貝沼 拓実 / サクソフォン | シエナ・ウィンド・オーケストラ奏者
翁 優子 / クラリネット | 広島ウインドオーケストラ奏者
野本 洋介 / 打楽器 | 読売日本交響楽団 打楽器奏者
奥村 晃 / トロンボーン | 元新日本フィルハーモニー交響楽団奏者

[スペシャルトレーナー] [司会]
渡部奈津子 / ホルン | 広島交響楽団奏者 奈羅尾玲子



Rehearsal リハーサル



- プログラム
- [第Ⅰ部] 1 ふるさと鳥取グランドマーチ
 - 2 名探偵コナンメインテーマ
 - 3 ゲゲゲの鬼太郎 Funk Ver.
 - 4 宿命
 - 5 Sing,Sing,Sing
 - [第Ⅱ部] 6 英雄は我が傍らに / ジェームズ・スウェアリンゲン
《 In the presence of heroes / James Swearingen 》
 - 7 陽はまた昇る / フィリップ・スパーク
《 The Sun will rise again / Philip Sparke 》
 - 8 アルメニアン・ダンス Part1 / アルフレッド・リード
《 Armenian Dances Part I / Alfred Reed 》
- アンコール曲 宝島



来場者の声

指揮の方も全身で表現しておられました。すごかったです。素晴らしい演奏をありがとうございました。皆さんの思いが音になっているのかなと思いました。色々な人達のために、誰もが楽しめるように配慮の行き届いたアナウンスに優しさを感じました。音楽っていいです。アートも最高です。

高校生の頑張っている姿に感動した。とてもステキでした。最後の曲は一体感と迫力があって最高でした。素晴らしい演奏で感動しました。高校生とプロが同じステージで共演することはあまりないので、大変貴重な機会でした。このような企画があることで、県内の吹奏楽のレベルアップにつながることに期待します。

音にまとまりがあり、とても一体感がある演奏だったし、聞いている側も楽しめる演奏だった。一つひとつの音がとても綺麗で、澄んだ音で心地よかった。プロの方と高校生が演奏していて、高校生も活躍しているのがいいと思った。吹奏楽のすばらしさを感じられる演奏でとても満足。来てよかったと、とても思えた。

どの曲もカッコよすぎでした！アンコールに「宝島」がきたのは激アツでした。ありがとうございました。

出演者の声



指揮者 おおい しゅん
大井 駿

それぞれ違うバックグラウンドを持つ複数の高校の吹奏楽部が、合同でこれほどのプログラムを演奏するという試みは、日本でもなかなか稀ですし、簡単なことではないでしょう。しかし、練習を経るごとに、演奏会への期待感はだんだんと膨らみ、成功への確信へと変わりました。この演奏会へ向けて、各校顧問の先生を軸に、日本の音楽界の第一線で活動されるゲストアーティストに鳥取までお越しいただき、ご指導いただきましたが、先生方のご指導のみならず、各吹奏楽部の持ち味に互いが刺激を受け、うまく混ざり合ったことも、非常に大きいと思います。そしてそれは、鳥取の美しい自然、うまいもなど、鳥取の魅力的な土壌によって磨かれた学生のみなさまの豊かで優しい感性なくしては語れないでしょう。

この場をお借りし、とりアート実行委員会のみなさま、各高校吹奏楽部の顧問の先生のみなさま、何度も鳥取へおいでくださり丁寧に指導いただいたゲストアーティストのみなさま、素晴らしい演奏をしてくださった高校生のみなさま、そしてご来場いただきましたみなさまに深く感謝申し上げます。そして、今後もこのような活動を温かい眼差しで見守っていただけますよう、よろしくお願いたします。

「音楽は年齢も立場も関係なく
みんながつながりあうことができる」

これが今回の取り組みを通して一番に感じたことです。今回のスーパーブラスでは、鳥取県東部の高校5校に加えプロアーティストの方々と共演させていただきました。音楽をしているからこそ巡り合えた仲間たちです。練習では学校関係なく意見を言い合ったり、プロアーティストの方々が私たち学生にアドバイスをしておられる姿が多くみられました。自分たちの求める音楽に少しでも近づくように、みんなが丸となって取り組んでいたように感じます。本番では音楽を届ける側、受け取る側ともに音楽を楽しみ、共有して会場内のすべての人が繋がりがあえることができました。みんなが一つになったのを感じ、心から吹奏楽をしてよかったと思えた瞬間でした。これからも音楽でつながることができた出会いを大切に日々を過ごしていきたいです。

このような素晴らしい経験をさせていただいた関係者の方々、先生方、プロアーティストの方々、そして一緒に舞台上に立った仲間たち、本当にありがとうございました！



鳥取県立鳥取東高等学校 吹奏楽部
クラリネット奏者

おかわ
岡 羽奏

地域連携事業

～ 絵画と音楽で紡ぐ時間～

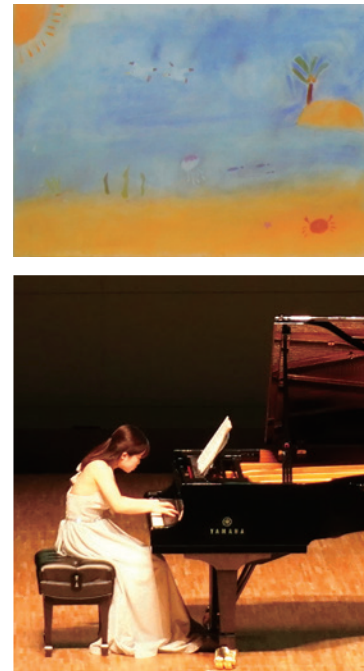
パンチュール

ミュージック

Peinture×Musique

県内の文化資源
(建物、伝説、人、既存の取組など)を
活用・連携





2025年春開館の鳥取県立美術館と、 鳥取県総合芸術文化祭・とりアートの コラボレーションコンサート！

[Part I] 鳥取県出身の洋画家・前田寛治が描いた絵画作品や、同時代の西洋絵画を大きなスクリーンに投影しながら、NHK交響楽団メンバーによる生演奏、オリジナルの詩と共に紹介しました。

演奏曲/ドビュッシー:シランクス、月の光
イベール:2つの間奏曲
武満徹:海へIII 第一楽章「夜」
ドビュッシー:フルート、ヴィオラ、ハープのためのソナタ

[Part II] 鳥取県出身のピアニスト演奏による、ムソルグスキー作曲《展覧会の絵》にのせて、鳥取県内の小学生が様々な想いで描いた「未来」を紹介しました。

演奏曲/ムソルグスキー:展覧会の絵

開催日時 2024年11月24日(日) 開演15:00

会場 エースパック未来中心 大ホール 入場者数 683名

出演者 [Part I] NHK交響楽団メンバー
梶川 真歩 (フルート)、早川 りさこ (ハープ)、村松 龍 (ヴィオラ)
[Part II] 鳥取県出身ピアニスト
秋山 ちひろ、高木 伶、三島 加蓮

MC 倉本 真梨菜
朗読 石坂 修(劇創西社OHKSU)
映像 林 佑樹(映像作家/株式会社リアルコーディネート)
詩 漆原 正雄(詩人・作家)



来場者の声

有名な前田寛治さんの絵画の数々を音楽に合わせて見ることができて初めての経験でした。

前田寛治は鳥取県出身の有名な画家、程度の知識しかなかったのですがとても楽しめました。どの絵画も実物を見てみたいとなりました。県立美術館がオープンしたらぜひ見に行こうと思います。

目・耳・音・色・言葉すべてで楽しめました。



鳥取県内の小学生が描いた、「未来」をテーマにした絵画作品を展示。コンサート内でも、スクリーンに投影しながら紹介しました。

開催日時 同日 9:00~17:00

会場 エースパック未来中心 リハーサル室



出演者の声



愛知県立芸術大学
大学院博士前期課程 2年

みしま かれん
三島 加蓮

とりアート地域連携事業公演「Peinture×Musique」に鳥取県出身のピアニストとして参加させていただきました。

この公演についてのお話を頂いたときから、素敵な企画に関われることをとても楽しみにしていました。実はムソルグスキーの『展覧会の絵』は今までに弾いたことがなかったため、大きな舞台上で演奏することに不安もありましたが、地元で演奏できることを楽しみに本番まで練習を重ねました。Peinture×Musique当日は、リハーサルから本番まで多くのスタッフの方々に支えていただき、温かい雰囲気の中、気持ちよく演奏することができました。音楽と絵画が一度に楽しめるような機会は普段あまりないため、子供たちにとっても貴重な経験になったのではないかと思います。

私は現在、県外に出て音楽を学んでいる身ではありますが、地元である鳥取県は心の拠り所となる大事な場所です。今回の公演に留まらず、これからも鳥取県の文化芸術をさらに豊かにしていけるよう、これからのとりアート公演を含め、さまざまな形で関わっていかれたらと思っています。

「宇宙船地球号の旅」

詩人・作家 ^{うるし ばら} 漆原 ^{まさ お} 正雄

子どものころから憑かれたようにおもっていることがある。「いまの世界は、いまを生きる私たちが運営しなければならない。だからこそ、これまでのひとたちがのこしてくれた（絵や音楽、ことばなどすべてひっくるめた文化的な）財産をむだにしない」というものだ。私たちは「現在」の在りかたに自覚と責任をもちながら、未来にたいしてできるだけ善いかたちでバトンを渡さなければならない。

「宇宙船地球号」というのは、地球を宇宙船に見立てた概念だ。本来は経済学につかわれるようだが、私はこのことば（＝発想／イメージ）がすごく好きだ。世界じゅうのひとびとが一丸となっていま・ここを生きている、苦難を乗り越えようとしている。性別も年齢も国も一切関係ない。だれひとりとして欠けてはならない。みながみな、かけがえない乗組員なのだから。

前田寛治の絵とN響による演奏は、来場者のところをひとつにまとめたとおもう。宇宙船地球号の船内に色とりどりの花が芽生えていくような、そんなうつくしい時間を味わった。私の詩も、そこにちいさな花を咲かせていたのであれば、と願わずにはいられない。

次世代育成事業

DANCE DANCE DANCE

長靴をはいたねこ

い・ろ・は！

～ すごい！ おもしろい！ はじめてでも楽しめる古典・郷土芸能 ～

鑑賞者・活動者の育成、子どもたちの感動と成長の場づくり

発表やチャレンジの場の提供



プロによるワークショップを初心者向けの「やさしいコース」、難しいダンスにも挑戦したい方向けの「もっとおどりたいコース」に分けて実施。

開催日時 7月25日・26日・8月8日・9日・9月14日

講師 ワークショップ講師/上山 貴行
アシスタント・サポート/川口 朋子

会場 エースパック未来中心 リハーサル室、小ホール、大ホール



■ 成果発表 ワークショップ参加者でチームを組み、最後には大きなステージで成果発表を行いました。

開催日時 2024年9月15日(日) 開演14:00

会場 エースパック未来中心 大ホール

鳥取県内の小学生・中学生・高校生によるダンス・オン・ステージ！

開催日時 2024年9月15日(日) 開演14:00

会場 エースバック未来中心 大ホール **入場者数** 延べ800名

公演内容 ・鳥取県内の小・中・高校生によるダンスパフォーマンスの披露
・ワークショップ参加者によるダンスパフォーマンスの披露

出演者 鳥取県内ダンス団体 20団体/延べ150名
ダンスワークショップ参加者 26名
(やさしいコース10名、もっとおどりたいコース16名)

ワークショップ講師/上山 貴行
司会/奈羅尾 玲子



倉吉北高校ダンス部



JAKE



SUNNY フルーツ



BaBy ToXiC



米子高校ダンス部



米子東高校ダンス部1年生



booster



Baton キャンベル



P1umos.



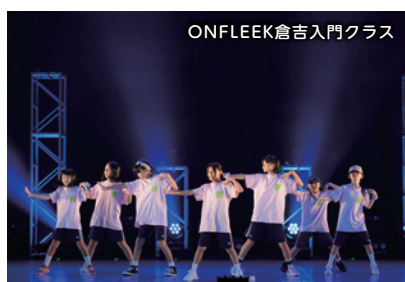
米子東高校ダンス部2年生



VIOLA



リッキーキッズ



ONFLEEK倉吉入門クラス



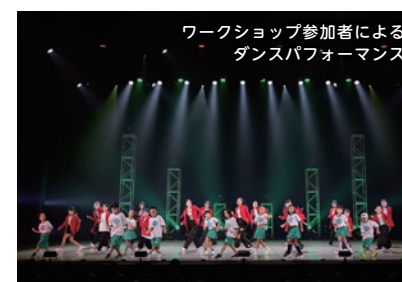
ONFLEEK倉吉初級クラス



ONFLEEK米子初級クラス



BeVY



ワークショップ参加者による
ダンスパフォーマンス



倉吉北高校インターアクトクラブ



ナジュム



Supply万里一空



HA (Highly Advanced)

来場者の声

ステージで、子どもたちがキラキラ輝きながら踊る姿を見て、本当に感動し、うろっときました。きっと子どもたちの自信にもつながる。挑戦してよかった！と。そう感じました。

子どもがとても満足しています。上山先生のご指導のおかげで、ダンスが更に大好きになったようです。先生のお手本ダンスがカッコよくて、子どもが憧れていて、自宅でも楽しく練習していました。練習と本番を通して、とても自信がついたようです。

鳥取県総合芸術文化祭・とりアート第22(にゃんにゃん)回 記念公演！
劇団かかし座によるシャドウ・ファンタジー・ワールドを観て、体験して、
みんなでいっぱい楽しみました。

開催日時 2024年10月14日(月・祝) 開演14:00 会場 エースパック未来中心 小ホール
公演内容 影絵劇「長靴をはいたねこ」 出演者 劇団かかし座
入場者数 本公演 228名 ワークショップ 32名



関連企画 01 | 影絵ワークショップ
「オリジナルの影絵人形を作ってみよう！」

開催日時 2024年10月14日(月・祝) 10時30分～12時
会場 エースパック未来中心 セミナールーム3

厚紙を切り抜いて自分の好きな影絵人形を作りました。動くようにしたり、色を付けたり、影絵劇への興味がますますわいてくる内容となりました。



関連企画 02 | バックステージツアー

開催日時 本公演終了後～16時まで
会場 エースパック未来中心 小ホール

公演をご覧いただいたお客様をステージにお招きし、出演したキャストと直接ふれあひながら、スクリーンの裏の見学会や公演で使ったスクリーンにご自身で影を写す体験等を行いました。



倉吉北高校インターアクトクラブ

来場者の声

いつかかかし座さんの演劇を見に行きたいとずっと思っていました。今回それが子どもと一緒に観劇するという形で叶い、本当に感動しました。家に帰ってからも、懐中電灯のライトを照らして、影絵をつくって遊んでいます。今日はたくさんの感動をありがとうございました。

日本が誇る古典芸能、鳥取に古くから伝わる郷土芸能から神楽・雅楽・落語をお届け！
演目披露のほかに、クイズやミニ体験コーナーも実施しました。小さなお子さまや
初めて鑑賞するという方にもたくさんご来場いただき、日本の芸能に触れ、
親しみを持つ機会となりました。

開催日時 2025年1月19日(日)
会場 米子市文化ホール イベントホール
入場者数 延べ250名

来場者の声

体験コーナーによって、神楽、雅楽、落語のことがより深くわかりました。初めての鑑賞だったので、すごく勉強になりました。また、このような機会があったら参加したいと思います。



神楽

や え がきのう
「八重垣能」
オロチを動かしてみよう

出演者

鳥取県立日野高等学校
郷土芸能部



雅楽

え てんらく げんじょうらく
「越殿楽」、「還城楽」
楽器体験

出演者

鳳鳴雅楽会



落語

じゅげむ
「寿限無」、
「日野川の河童とり」
こばなし
小噺にチャレンジ

出演者

桂文吾・桂小文吾

出演者の声



ダンサー かみ やま たか ゆき
上山 貴行

年齢も学校も、ダンスの経験値もバラバラ。
いろんなメンバーが集まり、みんなで1つのショーを作りました。
限られたリハーサル時間、みんな凄く集中して頑張ってくれて。
その日に出来なかったことも、家で沢山練習してしっかり出来る
ようになっていました。
みんな真面目で、素直で。
休み時間には学校のことや、夏休みのこと、美味しい牛骨ラーメン
の話も教えてくれました。
知らない同士で、はじめましての時には、先生もみんなも緊張気味
だったけど、本番日にはみんなすっかり打ち解けて。
限られた時間の中、しっかりとチームワークも出来ていました。
ダンスと音楽を通しての人との出会い。
一緒にステージで味わえる感動をメンバー全員で共有できたこと
を嬉しく思います。

人生の中で「古典芸能に触れる」ことが出来る人は、一体どれくら
いいるのだろう。ほとんどの人は触れる機会がなく日々が過ぎて
いくのではないかな。

私は日本伝統芸能の一つである雅楽を18歳の時に習い始め、今
回仲間と共に披露した。雅楽は約1300年の歴史があり、「世界最古
のオーケストラ」と表現され、平安時代に完成し形をほとんど変え
ずに今日まで伝わる歴史ある音楽だが、日本人で雅楽を生で聴い
たことがある人は残念ながら少ない。

今回「いろ・は！」では神楽、雅楽、落語の演目を披露し、多くの
方に文化芸術に触れてもらえた。音を出す経験をした子どもたち
の目は、普段とは違う楽器や音色に興味津々で、とても輝いてい
るように見えた。楽器の重さや温もり、音を出すことの難しさなどは
実際に触れてみないと分からない。古くから脈々と伝わってきた
日本の素晴らしい芸術は絶えることなく次世代へ繋げ、伝えてい
かなければならない。そのためにも今回の催しは非常に有意義で
演者にとっても良い経験となった。今後このような機会が増えて
いくことを願ってやまない。



雅楽奏者・舞人 もり かわ みち ひろ
森川 道弘

展示事業

COLOR MIX TORIART
2024

県内の多様な若手アーティストの作品を
県内各地区で巡回展示



鳥取から羽ばたく、未来のアーティストたちの作品展

鳥取県出身・在住の美術を専門に学ぶ学生たちの作品を中心に集めた作品展。絵画・グラフィックデザイン・建築デザイン・写真・ファッションなど、若手アーティストによる様々なジャンルの作品が集い、多様な表現を楽しむ企画となりました。

開催日時

2025年1月11日(土)・12日(日)・13日(月・祝)
2025年1月17日(金)・18日(土)・19日(日)
2025年1月24日(金)・25日(土)・26日(日)

会場

エスパック未来中心 セミナールーム3
米子市文化ホール 展示室
とりぎん文化会館 フリースペース

入場者数 延べ978名



えんどう さとし

鳥取短期大学 幼児教育保育学科

(左) 雨の日の出来事 /2024制作 (右) 昼寝 /2024制作
ペン画、鉛筆画、水彩紙



OBAN TAIKA

創形美術学校 ファインアート科 1年

(左) Melpomene /2024制作 (右) 虎 /2023制作
アクリル画、アクリルガッシュ



椿 美咲

広島市立大学大学院 芸術学研究科 造形芸術専攻 油絵領域 修士 2年

(左) Keep going deeper all the way /2024制作
(右) Where it's neither day nor night /2024制作
油彩、キャンバス・パネル



園 めい子

成安造形大学 イラストレーション領域 アートコース 4年

(左) 堅田漁港 /2022制作 (右) kemono /2023制作
アクリルガッシュ



紡葉 -hoyo-

公立鳥取環境大学 環境学部 環境学科 4年

景色に溶け込む /2024制作
切り絵画用紙、景紙切り絵用紙



古橋 緋夏

大阪芸術大学 芸術学部デザイン学科 4年

企業コラボデザイン応募作品 /2023制作
Illustrator



カオストリップ

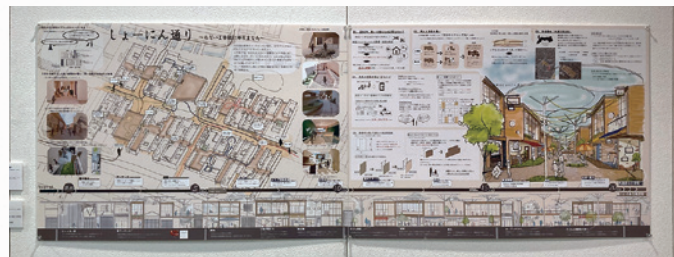
米子文化服装専門学校

大人の七五三 ワンピース /2019制作 セットアップ /2023制作
ミシン縫製(部分的に手縫い仕上げ)、綿、レース、子供用着物の古布



井岡 溪太郎 鳥取大学 農学部国際乾燥地農学コース 3年

(左) 山岳都市 サパ /2024制作 (中央) 猿の惑星 /2024制作 (右) メコン川と暮らす /2024制作
フィルムカメラ



松原 ひな子、徳田 来夏、宮本 澤 国立米子工業高等専門学校 建築学科 (制作時:4年)

しょーにん通り〜「ただいま学校に帰りました」〜 /2024制作
空間デザイン



槇野 永人、田巻 智理、川上修太郎
岡田 紗和、田立 早笑、辻野 功人
国立米子工業高等専門学校 建築学科 建築デザインコース 4年

渡鳥橋(とっとりきょう) /2024制作 構造デザイン



遠藤 諒悟、越田 奏羽、齊鹿 夏希 (4年)
中村 歩夢、片岡 芯太、徳永 惇哉 (3年)
国立米子工業高等専門学校 建築デザインコース

要(かなめ) /2024制作 構造デザイン



炭谷 華月

鳥取大学 地域学部地域学科 国際地域文化コース 4年

eye /2023制作
カンヴァス・油彩



高橋 悠馬

鳥取大学 農学部 生命環境農学科 里地里山環境管理学コース 4年

Focus /2023制作
写真(比較明合成)・写真用紙



川崎 恵太

鳥取大学 地域学部 国際地域文化コース 2年

孤愁 /2024制作
組写真・モンタージュ・オマージュマット紙



勝部 麻衣、村上 尚美 (専攻科2年)
加茂 大助、河村 謙佑 (専攻科1年)
国立米子工業高等専門学校 総合工学科建築デザインコース
荒木研究室(※学年は制作時のもの)

仁風閣 /2023制作
ステンボード、紙



横田 結渚

鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻 2年

#推しは心の栄養分 /2024制作
コンピュータグラフィックス



山根 未結

鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻 2年

小さい人 /2024制作
コンピュータグラフィックス



戸村 巴月

鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻 2年

同じ時を生きるのに、
見ているものはみな違う /2024制作
コンピュータグラフィックス



野崎 ほのか

鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻 2年

新旧日本パズル /2024制作
コンピュータグラフィックス



松本 唯

鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻 2年

贈りませんか /2024制作
コンピュータグラフィックス



原田 桃花

鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻 2年

生きる糧 /2024制作
コンピュータグラフィックス



北田 菜鈴

鳥取短期大学 生活学科 住居・デザイン専攻 2年

あなたの美しい命 /2024制作
コンピュータグラフィックス



山田 昌幸

鳥取大学 工学部電気情報系学科

GREETING /2024制作
写真、写真用紙

来場者の声

若い人の作品にふれる
良い機会だと思います。
今後も継続してください！

各自それぞれ個性のある作品ですね。偶
然通りかかり、雪の中、出かけて素晴らし
い作品に出会い、今年一年とてもいいス
タートができました。今後ますます、素晴
らし作品づくりをしてってください。

すべての作品、発案〜制作に大きなエ
ネルギーと時間を費やされたことが感
じられ、感動しました。もともと持って
おられた素質+感性+努力の賜物。こ
れからのご活躍も楽しみです。

出展者の声



米子文化服装専門学校

カオストリップ

「COLOR MIX TORIART」にお越しくくださった皆様、ありがとうございました。

今回の展示では、県内に服作りを学べる学校があることを知ってもらい、表現活動をもっと身近に感じてもらいたいという思いで作品を発表しました。

私が服作りを学びたいと思ったのは25歳を過ぎてからです。遅すぎると言われましたが、学校の先生たちは気にすることもなく温かく迎え入れてくれました。学ぶ中で、「大人になっても、こんなに知らないことがあるのか!」と驚き、「まだまだ伸びしろがあるんだ」とワクワクしたのを覚えています。

今回展示した衣装には、「大人になることの楽しさ」「自分で自分を祝う素晴らしさ」など、たくさんの祈りを込めました。

会期中には嬉しいお言葉をいただき、大きな励みになりました。今回の展示を通して、「こんな服を着てみたい」「自分も何か作ってみたい」と思っただけなら嬉しいです。

広島市立大学大学院 芸術学研究科 造形芸術専攻 油絵領域 修士 2年

つばき みさき
椿 美咲

ご案内いただいた際に伺った、「鳥取県出身の作家や絵画を学んでいる学生の作品を展示する」という企画に興味を持ち、何か自分もその力になればと思い出品いたしました。

これまでは現在暮らしている広島や関東での展示が中心で、地元である鳥取県で行う機会はありませんでした。そのため、今回のイベントを通じ家族や友達に実際に絵を見てもらうことができても有り難い体験だったと感じています。展示のあった今年6年通っていた大学を修了し社会人に進む、自分にとって特別な年であったため、良い思い出ができ嬉しく思っています。今後もまたどこかで絵を見ていただけるよう引き続き制作を続けていきたいと考えています。

今回は貴重な体験をありがとうございました。これからも「COLOR MIX TORIART」の展示や、とりアートの企画を通して美術の道を志す人への理解が深まっていくことを心から祈っております。

こどもたちの未来に向けた取り組み

とりアートでは「次世代育成事業」として、将来を見据えた鑑賞者・活動者の育成、子どもたちの感動と成長の場づくりのため、発表やチャレンジの場の提供、鑑賞事業やワークショップを行っています。次世代育成事業にとどまらず、ほかの事業においても、子どもたちの未来を見据えながら取り組みを進めてきました。本頁では、その取り組みをいくつかご紹介します。

01 小さなお子さまから入場可能なコンサートづくり



「未来への扉 TOTTORI SUPER BRASS」(2025.1/26開催)では、「だれでもウエルカム」と題して、小さなお子さまからご入場いただけるコンサートを企画しました。

公演当日は、開場中のアナウンスやマナー動画で来場者への理解を求め、演奏中の出入りを自由とし、掲示物等により親子室の解放、チャイルドクッションの貸出しを行いました。小さなお子さまの来場もあり、リズムに併せて体を動かす場面もあり、アンケートでは生演奏を聴かせることができた喜びの声も多く寄せられました。



02 高校生ボランティアとの連携

倉吉北高等学校インターアクトクラブの皆さまと一緒に当日運営に取り組みました。インターアクトクラブは、「社会奉仕(ボランティア)」と「国際理解」を2つの柱として活動している生徒会の部活動で、県内で多くの活動実績を残し、各種の名誉ある賞を受賞しています。インターアクトクラブの高校生は、出演者と同世代であったり、ご来場のお客様の世代に近いこともあり、それぞれの公演において、なごやかで自然な対応がとても印象的でした。高校生ならではの積極的な活動に大きく支えられました。



「DANCE DANCE DANCE」(2024.9/15開催)では、お客様を迎える準備や会場案内を行いました。



「長靴をはいたねこ(劇団かかし座)」(2024.10/14開催)の関連企画「影絵ワークショップ」では好きな色のセロファンを一緒に選んだり、切り抜いたり、影絵人形を動かしてみたり、参加した子どもたちが楽しめるよう、講師のサポートをしました。また、同日開催の「長靴をはいていないねこ展」ではお客様が見やすいようにレイアウトを工夫し、本公演の受付ではお客様を元気にお迎えしました。

03 こどもたちが参加・体験できる取り組み

絵画の募集と展示、そしてステージを彩る大切な作品に。

県内の小学生を対象に「未来」をテーマにした絵を募集しました。自由なアイデアや想像の世界観で描かれた作品は154点集まり、「絵画作品展」(来場者による投票で「みんなの推し作品」も選びました!)での展示を行いました。そして、すべての作品は、「〜絵画と音楽で紡ぐ時間〜Peinture×Musique」(2024.11.24開催)内で、ピアノ演奏とともに、エースバック未来中心の大ホールに投影されました。自分の描いた絵が映し出される嬉しさや、子どもの作品も一緒にみることができ、ゆったりとした時間を過ごすことができたとの感想もいただきました。



《プレイベントの開催》

CREATIVE WORKSHOP!

〜オリジナル缶バッジづくり、ぬり絵〜

とりぎん文化会館の主催事業「アートSQUARE夢空間vol.42アートSQUARE夢空間スペシャル」(2024.9/7開催)と連携し、好きな絵を描いてみたり、好きな色で塗ってみたり、オリジナル缶バッジを作ったり、自由にアートで遊ぶ時間をお届けしました。





22ND
TOTTORI ART AND
CULTURE FESTIVAL

TORI ART 2024

第22回鳥取県総合芸術文化祭
とりアート2024



Special thanks

とりアートに関わる全ての皆さまに心からの感謝を込めて。

伊藤企画

NHK交響楽団 西川彰一さん

株式会社FM鳥取 RADIO BIRD

倉吉北高等学校 インターアクトクラブ

倉吉博物館

国立米子工業高等専門学校

SOUND OF EARTH

有限会社佐々木運送

株株式会社シセイ堂デザイン

株式会社中海テレビ放送

鳥取環境大学 美術部

鳥取県立倉吉未来中心(エースパック未来中心)

鳥取県立県民文化会館(とりぎん文化会館)

鳥取県立図書館

鳥取県立博物館

鳥取県立美術館

鳥取大学 写真部

鳥取短期大学

「長靴をはいていないねこ展」より
お家のねこちゃん

「未来への扉 TOTTORI SUPER BRASS」
出演高校吹奏楽部顧問教諭の先生方

みんなアーティスト動画出演者のみなさま

米子市美術館

米子市文化ホール

米子文化服装専門学校

(五十音順)

鳥取県総合芸術文化祭実行委員

委員 9名 任期 2024~2026年度

会長 藤井 浩基

委員 伊藤 泉美

委員 片山 暢博

副会長 加藤 京子

委員 岡崎 隆司

委員 澤村 順子

委員 池淵 菜美

委員 尾上 明

委員 藤井 鉄也

2025年3月現在(委員以下、五十音順)



とりアート イベントアルバムはこちらをご覧ください
<https://artsfriend.com/album>

お問い合わせ

鳥取県総合芸術文化祭実行委員会 とりアート事務局
(公益財団法人鳥取県文化振興財団 とりぎん文化会館内)

TEL:0857-21-8700(案内番号3)

9:00~18:00 ※とりぎん文化会館の休館日を除く



<https://artsfriend.com/>



22ND
TOTTORI ART AND
CULTURE FESTIVAL
TORI ART
2024